



Photo:村上重義(高23回卒)

副会長、幹事長及び幹事諸氏、全員で、皆様が一人でも多く参加して下さいることを希望し、期待しています。

むかし、学生時代、誰かが話していました。新宿駅のホームで背後から「やあーい。やあーい。」と呼び掛けられると、「心は途端に松本に戻ってしまっんだよ。」と。まさに、松本弁の威力です。同窓会はその魔法を秘めた松本弁、松本訛りに溢れています。



**松本弁と  
松本訛り**

東京同窓会会長 山岸 光臣  
(高3回卒)

かの啄木だって  
”ふるさとの なまりなかつ  
かし停車場の 人ごみのな  
かに そを聞きにゆく”

と詠んでいるではないですか。  
「どうだいね。たまにや出てこねえかい。一緒に、わいわいやりましょや。」

会 報

あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所  
松本県ヶ丘高等学校  
東京同窓会  
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15  
ポストインネットワーク内  
TEL.0422-23-7620  
発行人:山岸 光臣

早や新緑みずみずしく、第三十七回松本県ヶ丘高等学校東京同窓会の季節となりました。本年は高校第二十六回の卒業生(実行委員長・篠原賢一君)の皆さんにより開催されます。会長である私はじめ


松本弁で話し合って、時間を超え、場所を越えて県陵生に戻ろうではないですか。それが同窓会と言うものでしょう。是非出掛けて先輩や、後輩と語り合ってください。

**第37回 県陵東京同窓会 定期総会・懇親会の案内**

日時:平成16年6月12日(土)午後1時30分~4時  
場所:新宿センチュリーハイアット東京 地下1階 クリスタルルーム  
会費:10,000円(高47~56回卒は4,000円)

総会 ①会務報告 ②会計報告  
③監査報告 ④役員改選 ⑤その他  
懇親会 ①県陵ビデオ上映 ②ミニコンサート  
③みんなで唄おうコンサート など

※詳しくは同封の案内書をご覧ください。





# 「県陵東京同窓会に 思うこと」

第37回東京同窓会実行委員長

篠原 賢一 (高26回卒)

「県陵」この言葉の響きが私は好きです。しかし、県陵を卒業してはや30年も経つのかと、歳月の流れのはやさを感じています。自分が高校生時代を思うことは、卒業してからは、ほとんどありませんでした。高校生活が自分にとってどうであったかと思うと、社会へするための大人になるための通過点のようでした。

でも、部活とかクラスの仲間とかコンパとか、今思うと懐かしさが湧き出てきます。そして、社会へ出て「県陵」という言葉を話す機会があまりありませんでした。仕事や家族との生活に追われ、あわただしく記憶の片隅にしまわれたままでした。

「愛のリレー」の話があったとき、

どちらかといえばこのような活動があったのかと驚く気持ちもありました。先輩の方々そして仲間と会い、話をするにいたが卒業してからみんな様々な道へ進み、社会でがんばっているということを知り、高校時代の面影と重なりながら、自分もいざなわれる気持ちにさせてもらえていたという事が分かってきました。

私が第37回東京同窓会の実行委員長を引き受けることになったとき、まだ県陵東京同窓会がどの様な活動をしているか知らない状況でしたが、「県陵」という言葉で、気持ちの分ち合える共通の意識があることが分かってきました。これは、すばらしいことだと思っています。

今年、高校第26回卒の私たちが、テーマ「集え、大人の県陵祭」にて、母校の昔を偲び、現在を知り、そして未来の発展を祈念しながら、自分たちが過ごした、たかが3年間、されど3年間を思い、社会にでてそれぞれ道でみんながそれぞれにがんばっていることを話し、そして、また明日のがんばりにつなげられる会にできればと思います、実行委員全員でがんばって開催させていただきます。是非とも皆様のご参加、よろしくお願いいたします。

最後に、母校と共に東京同窓会の更なる発展と、同窓会の皆様のご活躍とご健康を祈念いたします。



# 軍史は悲し吉野山

関西同窓会名誉会長

西村秀実 (中2回卒)

私は旅順生まれで旅順中学一年の時一家の事情で帰国、郷里の竣工間もない松本二中に編入して頂いた者です。この様に自己紹介しても実は私は悲しい。旅順という地名は今も殆んどどの青年諸君から消え去って居ります。私は私の生地旅順こそ日本国の過去の栄光にも、また幻滅にも

係わり国の命運を定めた原点であったと思っております。私は旅順に関心を持たれる諸君はどうか日露戦争からの歴史を繰り下さい。私は日露戦争は過去日本が行った戦の中で正義の戦であったと言ってもアジア人として許されると思っております。さて前置きはこの位にして入学当

時の私にとって懐かしい思い出を一つ二つ。国漢の小沢先生。多言は許されなかつたが含蓄のある如何にも文学者らしい方でした。或る冬の寒い日、教室のストープに使う石炭が不足して寒氣一人であった。幸か不幸か教壇の上層を支える板が破れて居たのを見つけて悪童兵は全部を外し四隅の支え木だけを残して焚木として先生のおいでを待った。それは国語の時間で小沢先生は何も知らずに入室され教壇に上がった。教壇は途端にグラグラとしてベシヤンコとなった。その時の先生の驚きは只事ではなかつた。無理はなくその前

年大正十二年九月には関東大地震があつたから先生は又地震かとお仰つてびつくりされたのだつた。それが悪童兵の仕業と解り先生は安心して授業を続けられた。悪童兵は後で校長先生にも知らされ大巨玉を食うであらうと皆覚悟して居たが何事もなく翌日は教壇は修理され石炭も無事配給されていた。先生の温情を悪童兵も感得したのである。

この小沢先生にはもう一つ教壇の思い出がある。或る日先生は入室されるや「溜まぬが一寸時間をくれ給え」と言われ腰を掛け沈思冥想された。それは「考へる人」の彫刻像そ

信州松本 美ヶ原温泉

## ゆたかや旅館

〒390-0021 松本市市山辺 272

TEL・FAX 0263-32-4107

中15回卒 小林 清完

## 山岸光臣法律事務所

弁護士 山岸 光臣  
(高3回卒)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-14

第2東ビル8F 801号室

TEL 03-3255-2700 FAX 03-3255-2709



のものであった。暫時の後、平素と変わらぬ授業があった。今思うに教壇は先生の據点であり考える所決

心する所であると思うのである。昨今当地の大学は別として教壇のある学校は殆んどないようです。明治末

年生生まれの私は今熱心な教壇復活論者です。

# 毅然のひと——和佐田先生のこと

後藤 襄 (高一回卒)

私たち母校の大先輩で、同窓会にも足跡を残されている樋口和博さんの九十四歳の長寿と新著「つれづれのこと おりおりの歌」の出版を祝

“怖かった先生”のひとりだったかも知れません。

「開ひ会」がこのほど東京で開かれました。その折、樋口さんが敬愛してやまない母校の恩師、和佐田徹三先生(一八八七年—一九七一年)のことが話題になりました。

“思ひ出を書かれては樋口さんには、いつも和佐田先生のことに触れられ、創立八十周年の『県陵の歩み』にも「鈍刀先生は剣の道は禅の道に通じると言っておられ、自らもきびしい修業をされ、教え子たちにも同じきびしい道を求めた。(中略)練習でとことんまで叩かれ、ぶつ倒れてしまっても「まいった」というまでお許しが出なかつたこともあった。それが終わると我が子に対するように、やさしくいたわってくれたことを忘れない」。剣道を通じて、きびしさで優しさに徹した人間教育実践者としてしのんでいる。

戦中・戦後の激動期を県陵で過ごした私たち一期生の戦中は、剣道、柔道が正科で虚弱だった私は、柔道を選択し、剣道の和佐田先生と接する機会が少なく、いつも学校では、けいこ着と袴を身につけ、謹厳美直で近寄りにくい印象でした。私たちの文集に、同僚は、ちよつとひねって「鈍刀 剣道 七段は松本平でも稀れ、かくしゃくとしてハガクレ武士道先生で、明治の傑物。講堂で真冬の居合ひ術は鋭かつた」とつづり、アダ名も俳号の「鈍刀」そのまま「ドントさ」と呼ばれていました。

和佐田先生は、明治二十年九月、群馬県佐波郡剛志村(現・境町保原)に生まれ、大正二年警視庁巡査となり、剣聖とうたわれた中山博道先生に師事して剣道への道を精進。たまたま同郷の講談社の創業者、野間清治社長に見込まれ、社員教育と長男

およそ恩師との触れ合いや、語り合う機会も少なかった当時としては、

巨さんの家庭教師をつとめられた。その後、専任の剣道教師を求めたいた小松初代校長に最適任者として推されたものの野間社長との交渉が難航した末、許可され、大正十五年四月、母校の剣道教師に。以来、昭和二十一年三月まで、二十一年にわたり母校ひとすじに指導された。この間、住まいも母校の正門前に、ご子息三人を母校に通学させ、俳句や短歌など歌道にも造詣が深く、同窓会報や校友会誌などに寄稿されています。

後年、退職の心境を詠まれた  
二十年一日の如く勤めたり  
論旨退職も吾れに悔なし  
二十余年手馴れの刀打ち捨てて  
土にかへりぬ心肝けき  
(縣陵一八号「二年四月」)  
晩年、苦難の生活を余儀なくされ、昭和四十六年一月、八十三歳で病没されるまで、和佐田先生の生涯は、高い理想をかけた、すすんで初代校長として全精神を母校に注ぎ、「理想に殉じた」小松武平先生、栄達を求めず、三十八年余、英語教師ひとすじの三浦重雄先生と共に、私たちの母校にとって、かけがえのない毅然とした教師だったと思います。  
(縣陵一期会委員・ジャーナリスト)

関東ゴルフ会員権取引業協同組合員  
株式会社 **ゴルフ・プラザ**  
代表取締役 山本 靖弘(高13回卒)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-8  
☎03-3271-2155 ☎03-3271-2133

信州・松本 浅間温泉  
**露天風呂の宿**

心づくしのおもてなし

政府登録国際観光旅館 松本市浅間温泉3丁目5番23号

**ウエストンホテル**

TEL.0263-46-1711 FAX.0263-46-1715  
URL <http://www.daiichikankou.co.jp/weston>  
E-mail [Weston@daiichikankou.co.jp](mailto:Weston@daiichikankou.co.jp)

第一観光株式会社  
取締役相談役 渡辺 徳明(高1回卒)





# 校長冥利に尽きる

前松本県ヶ丘高校長

青山 誠

平成16年2月7日、久しぶりの特急「あずさ」でアルカディアア市ヶ谷へ向いました。長野県高等学校長会を代表して、長野県高等学校同窓会東京連合会創立40周年記念祝賀会に出席するためでありましたが、都会の雑踏が嫌いな自分には余り気が進まない旅でもありました。それでも会場に着き、栗山さんはじめ本校東京同窓会の顔見知りの方々にお会いし、少しは落ち着いてきました。午前中はバレーで全国制覇を何度も果たしている岡谷工業高校の壬生監督の講演でした。大変楽しい内容の話でありましたが、最後の方に今寮を新築中とのことにも触れておられました。東京長野県人会会長羽田孜氏の重厚なご挨拶の後、私のつたない祝辞も無事終わり、祝賀会になりました。ふと会場を見渡すと、急造の募金箱が会場を回っておりまして。「あれどこかで見た風景だなあ」。そうです。正月3日松本のホテルモンターニユで例年行われる本校同窓会の新年賀詞交換会です。確か英語科の生徒たち

がイギリス研修に向うにあたり、その関係費用等という趣旨で募金箱がまわったことがありました。確か十数万円近いお金が瞬間に集まりました。この会場でも岡谷工業バレー部の寮建築のためにこの募金箱を作り、会場の多くの方々に募金を呼びかけておられるのは、なんと県陵OBの面々でした。いやーさすがというか、なかなか真似ので

きることはありません。「さすが県陵は違う。すごい。」そんな思いが会場全体に広がりました。そのすごい学校の校長が自分であることをなんとも誇らしく、有難く思いました。こんな思いをこの3年間、数々の創立80周年記念行事はじめあちらこちらで感じさせていただきました。お陰をもちまして素晴らしい学校での日々を刻む中で無事退職の日を迎えることが出来ました。「校長冥利に尽きる」3年間本当に本当にありがとうございました。

## 松本県ヶ丘高等学校創立80周年記念

### 音楽祭から頂いた感動と絆

県陵同窓会副会長

池野節子(高4回生)

此の度の音楽祭は、県ヶ丘高校創立八十周年記念事業の一環として昨年九月二十二日松本文化会館で開催するに当り、是非とも成功させたい思いから団員の一人として参加致しました。

同窓生・PTAの皆さんと共に練習を重ねるにつけ中にはカラオケはやるが合唱は苦手とか、上条恒彦さんが来松し練習を見

て下さった時に、音程が不安定で音がよくとれない人も居るので譜読みをしてみても下さいと言われると音譜は全くだめと言う人、勿論合唱経験の豊富な人も大勢居るなか練習を重ねることに四声部が美しくハモルようになり、これは素晴らしい音楽祭になると確信する様になりました。

練習の後に後輩達とお茶を飲みお喋りに花を咲かせた事、夜の練習後に意気投合した人達で学生時代の思い出を語りながら、県陵街道を抜けて、行き着いた焼鳥屋での一杯は一際おいしく喉を潤し前夜祭の気分を乾杯した。数々の思い出を綴りながら愈々音楽祭の幕が開いた。

「新たな出発」いのちのこと・平和のこと・故郷のこと」と題して現在活躍して居る県陵出身のアーティスト達の声に耳を傾けながら、響きのある澄みきったソプラノの稲葉さんのソロと合唱で、ふるさと・吟遊百景から始まった。ソフトで聴く人の心に優しく訴え掛ける手仕事屋吉兵衛さん・ちよつびり田舎臭さを持ち歌にして故郷への郷愁をそそる堀六平さん・重厚で且つ荘厳な声の上条恒彦さんと三味線の山本英利子さんの演奏の後、バックコーラスが入り在校生、同窓生、PTAの四百人からなる合唱団は心一つにして超満員の会場へ向かって歌いかけた。

冬の森にて・何処へ・出発の歌・と曲は進み演奏もフィナーレを迎えた。曲はイマジンのみとなった。人は激動の歴史を刻み、文明が発達し平和で豊かな生活を手にしたというのに、慢



ネット化されたポストイン・システムで新しい価値を提供するピー・アイ・エヌ

株式会社 **ポストインネットワーク**

敏速・丁寧・格安!DM、郵便の発送代行は当社におまかせ下さい。

代表取締役 **村越 政雄** (高21回卒)

本社  
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15  
室岡ビル2F

☎0422-23-7620 ☎0422-23-7630

線馬センター  
〒180-0004 東京都練馬区谷原4-20-40  
増田倉庫D棟

☎03-3904-8418 ☎03-3904-4050

データ管理・インターネット  
御社のIT革命のご相談は



有限会社エムアンドエム

代表取締役 村越 政雄(高21回卒)

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15  
室岡ビル2F

☎0422-23-7901 ☎0422-21-7966



心した心の貧しさから心は病み  
犯罪や戦いの絶えない世界に向  
かって、平和で優しく思いやる  
心を求めて出演者も聴衆も一丸  
となって歌った「Imagine there's  
no heaven」心の叫びをやが  
て演奏会は幕を下ろした。感動  
した私の心は一筋の涙となり頬  
に流れた。長年混成合唱を続け  
発表会の後の満足感や感動とは  
全く異質のものに思えた。三大  
精神の元、多感な青春時代に出  
逢えた先生、同窓生から沢山の  
ご指導と友情、そして歌が生涯  
心の支えと友になる様導いてく



右端が池野さん

れた先生達への思いが歓喜の涙  
となったのだろう。大成功に終  
った音楽祭の素晴らしい演出と  
構成に多大なご尽力を頂いた上  
条恒彦・松本礼児両氏のご苦勞  
に感謝致し、多彩で県陵らしい  
素敵な音楽祭から在校生は何か  
を感じ、やがて大空に向って学  
び舎を巣立つて行くでしょう。  
全国からご支援とご協力を頂き  
記念事業が全て成功できた事に  
感謝申し上げ、東京同窓会が  
益々発展されることをご祈念申  
上げます。

暢さではなく、内容だ、その国  
を好きになる事だ、と悟りまし  
た。そして、今年の春、ここ松  
本におります。  
40年ぶりに高校の学窓に戻り、  
懐かしさとともに、新鮮な驚き  
も感じています。学校の世界の  
昔と変わらぬ良さも、変化に対  
応しきれないものかしさもあり  
ます。21世紀は変化の時代と言  
われています。社会も政治も文  
化も激動しています。長野も変  
化しています。変化のなかで流  
されず、流れの中に生きぬく勇  
気を持ちたいと思います。

が乗って戦いましたが、また  
もや敗れました。106連敗  
しても、これだけ人気がある  
のは、「ひたむきさ」が国民の  
共感を呼ぶからです。  
あがたの985名の高校生  
にも、ひたむきな夢を持ち続  
けてもらいたいと思います。  
高校の3年間は、人生で一  
番輝くときです。ひたむきに  
夢を持ち続ければ道は己から  
拓かれます。これからの一年  
は未来の自分と向き合い、未  
来の自分と対話するときです。  
県陵の長島茂雄を目標として、  
夢を持ち続けてもらいたいと思  
います。そのように、21世  
紀の主人公である「あがた」  
のこともたちに、応援し激励  
するのが、20世紀を生きぬい  
た私たち大人の責務なのでし  
ょう。



# 「あがた」のみなさん、こんにちは。

新松本県ヶ丘高校長

京田伸吾

この4月から県ヶ丘高校に御  
世話になっております。前の青  
山校長は、3月の終業式の際、  
県陵の素晴らしさを述べ、「県陵」  
と呼ぼうといわれました。私は、  
始業式の際、「青山校長の後を引  
き継いで県陵の伝統と誇りを、  
皆さんとともに守り、発展させ  
たい」と660名の新一・三年  
生を前に述べました。

私のことを少し述べます。(い  
わゆる民間人校長です。)30年前  
の春、京都の大学を卒業し、航  
空会社に入社しました。  
20年前の春、企業内の留学生  
派遣で、インドネシア大学で学  
びました。二年間、アセアン諸  
国(中国、タイ、フィリッピン、  
シンガポール、インドネシア)  
の国立大学に留学させる制度で  
す。全くインドネシア語のイの

字も知らなかったわけですが、  
半年間の国立語学研修所BUMA  
での猛特訓の末、授業について  
いける状況になりました。22名  
中卒業出来たのは5人のみでし  
た。10年前の春、アメリカのア  
トラランタに赴任しました。南部  
なまりの英語でまくしたてられ  
閉口しました。

この2つの経験から、語学は  
やれば何とかなる。問題は、流  
字も知らなかったわけですが、  
半年間の国立語学研修所BUMA  
での猛特訓の末、授業について  
いける状況になりました。22名  
中卒業出来たのは5人のみでし  
た。10年前の春、アメリカのア  
トラランタに赴任しました。南部  
なまりの英語でまくしたてられ  
閉口しました。

最後に、本校に赴任するに  
あたり、白馬高校の校長先  
生からいただいた言葉を紹介  
します。  
「本気ですれば 大抵のことが  
できる  
本気ですれば 何でもおもし  
ろい  
本気でしていると 誰かが助  
けてくれる」

この2つの経験から、語学は  
やれば何とかなる。問題は、流

この2つの経験から、語学は  
やれば何とかなる。問題は、流

この2つの経験から、語学は  
やれば何とかなる。問題は、流

この2つの経験から、語学は  
やれば何とかなる。問題は、流

この2つの経験から、語学は  
やれば何とかなる。問題は、流



# 【短歌】教え子群像

中山 博 (元教諭)

注目を続けた教え子の一人から、突然に転身の手紙を受けた。それは、浪人生活の徒勞を省みつつ、現在の清々しい心境を綴るものではあった。片意地にも似る潔き痛々しく偲ばれた。

新典の教への群にありといふ長くその後を聞かざりし子の進學を諦めし子が宗教に従ひしころ寂しければ想ふ行く道のたごきながら案内すとなれに先立つ教へ子二人

かたくなに心閉ざせる少年の眼おもひて夜半を覚めたり  
失態の果てに去りたる教へ子の文は届かぬ雪深き朝  
一徹に人恋ふ若きあやふさを見つつ詮なしたに目守りぬ  
過らし身を深く退きゆけり教へ子あはれその父もまた

「訪問」のわれに先立つ教へ子の提ぐる靴にきよく鈴鳴る  
放課後の校庭に立ち腰白き女子ランナーが孤独に励む  
会果てて抑えがたなきたかぶり  
に酒呼りどふ生徒徒ら五人

盗られたる故に盗りしと目前にも言葉なき少年言へり  
我意ひとつ通さんとあはれ色なして弁をあやつる生徒に對す  
いつしかに便り途絶えし教へ子が癌病みあると人伝に聞く  
嫁ぎゆかぬ教へ子よりの賀状にて年毎に小さし添書の文字  
婚退き教へ子よりの招待状有難し添へある文の律義さ  
葉桜のした来て懐ふ倒産し沙汰途絶えたる教へ子の生計  
中退の切なき告げて今にしも夜の電話のこゑ素直なり  
過ぎゆきはかく確かなり病む父が目擦る間とぞ嘆きしを懐ふ

# 私の県陵への想い。

林 茂十郎 (元教諭)

昨年は県陵八十周年記念で色々とな盛大な記念行事があり、私も大正十二年生まれで丁度八十歳となり何か重なる思いもあり、記念式典にも参加させていただき卒業生の方々のお話を伺い、久々に若い在校生の校歌・応援歌を口ずさみながら県陵の発展充実を祈念しました。

今年には二十六回生の卒業二十周年記念事業が四月にあると連絡をいただき、何か思いの一コマをと勧めら

れて凡々と馬蹄を重ね戸惑いながら筆をとりました。

三十年の記念行事は第十七回生第二十二回生、と今回で三度となり歳月の流れに唯々驚き健康で迎えられることが出来感謝の気持ちでいっぱいです。

県陵には昭和三十八年より十二年間お世話になりました。五十八年に定年退職で平成七年まで松本周辺に高等学校に講師として勤め、現在は

町内の老人クラブや同好の士の集まりの芸文の会に加えていたとき、年に一・二度の旅行を楽しんでいるほつばつ余生です。旅行の一コマを述べ何かの参考になれば幸甚です。

猪苗代湖の野口英世記念館で英世の母親シカの文字一文字を習いながら書いた自筆の手紙や「忍耐」の碑に肝銘を受けました。常陸の勿来の関に来た時は丁度桜が咲き歌人文人の夢の思いが込められた歌碑に花びらが舞いかかりロマンに満ちた思いをしました。歌碑の一部を述べてみます。

八幡太郎義家「吹く風をなこそ

## 藤木司法書士事務所

司法書士 藤木 茂 (高26回卒)

〒390-0861 長野県松本市蟻ヶ崎2-5-16  
☎0263-33-5693(代) ☎0263-33-5694

## 古川司法書士事務所

県陵二六会会長  
司法書士 古川静男 (高26回卒)

〒390-0863 長野県松本市白坂1-9-43  
TEL.0263-35-9188 FAX.0263-35-9173  
e-mail:sizuo-fu@valley.ne.jp



読書で生活に潤いを!  
カルチャーショップささき

佐々木 弘文 (高26回卒)

〒390-1401  
長野県東筑摩郡波田町5428-1  
☎0263-92-2223・☎0263-92-6017

株式会社 雅漆工芸

代表取締役 宮嶋 雅男 (高26回卒)

〒399-6201  
長野県木曾郡木祖村大字藪原1127番地2  
☎0264-36-3585・☎0264-36-3742

松本村井郵便局

局長 中村 賢 (高26回卒)

〒399-0032 松本市芳川村井町西裏269-8  
☎0263-86-0390・☎0263-58-4936



関とおもへども道もせにちる山桜かな」と詠んでおります。千年も前の天下一の武将と言われた心に、素晴らしい豊かな心情が時を越えて伝わった。西行法師の「東路の信夫の里にさすらいで勿采の関をこそぞわすらう」その他小野小町、紀貫之、和泉式部、幸田露伴、斎藤茂吉、内村鑑三、永野修身などの碑の背景にある世の中、歴史を思い浮かべながら現代人のパソコン、ケータイ

私達は、昭和48年3月22日、25回生を送り出した後の3学期の終業式の日(居合わせた学年です。そう、県陵80年の歴史の中で最も残念な出来事である「火災」の学年です。この事は26回生にとって、負い目であり、その分、母校への思いも強いのではないかと思います。

今年(高26)は愛のリレーの当番にあたりますが、卒業20年で160名が集い、25周年の折には、法被を50着作り、同窓会へ寄附させていただきます。今日に至っています。

ところで、松本駅からあがたの森に一直線に伸びる道に、この程「あがたの森通り」という愛称がつけられました。この道は松本高等学校誘致のために、当時の市の予算

## 第26回愛のリレー実行委員長より

高26回卒業 柏澤 由紀一

イ電話などのIT革命技術の文明に追われている今こそ、もう一度数多い文人たちの夢とロマンを訪ねることも素晴らしい文化と思いました。

最後の旅行は中国の莫高窟の仏画、仏像など見る旅が出来ました。これも県陵での12年間お世話になりました。大きいエネルギーをいただいたことと、心より感謝の気持ちでいっぱいです。

の15倍の巨費を投じて鍋屋小路などを拡張して作られたもので、高校通りと呼ばれたりチンチン電車が走ったところには電車通りと呼ばれたり様々でしたが、この通りの一帯に美術館や市民芸術館が出来て、松本市の一大文教ゾーンが出現したことからですが、母校をイメージさせる森と通りがでうのは私だけでしょか。

私はあがたの森を訪れたたびに、この森のたどった不思議な運命をいつも思います。というのは、旧制高等学校の校舎は、取り壊しが決まっていたのですが、県陵が火災になり、その翌日に県の文教委員会が開かれ、愛のリレーの発案者で

## 18歳の自分に戻れる日



第37回松本県ヶ丘高等学校東京同窓会実行委員長 寺澤祐則

昨年8月14日、私にとっては約20年ぶりの同級会が松本市内で開催された。

地元(塩尻)に就職したつもりが東京への転勤を命ぜられ、はや21年。同級生にはほとんど会う機会がなかった私にとって、かつての級友は今、どんな表情で接してくれるのか期待と不安が入り混じった中で会場へと到着する。既に到着しているメンバー、次々と到着するメンバー、顔を30年間に刻まれた年輪がタイムトンネルを抜けるかのように次々と剥がれ落ちてゆく。そして、瞬間に18歳の顔になる。油ごうさんの香りがする木造校舎やヒンヤリしたコンクリート教室で過ごした当時の顔である。以後はとめどなく交わされる仕事、生活、高校時代の思い出などの会話。アツという間に宴の

ひとときが過ぎてゆく。出席して本当に良かったという充実感が沸きあがってくる。

今、この会報をお読みいただいている皆様も訳あって東京生活をされている身。同級会への出席もままならなかったのではないでしょう。普段は仕事、生活に追われ過去を振り返る余裕などなかなか持てないものです。将来に向かって輝いていた時代があったことさえ忘れてしまいます。しかし、輝きの時代を思い出し、これから未来への希望を育む機会があるとしたらどうでしょうか。そういう機会のひとつ、それが東京同窓会です。世代を超え、大勢の老若男女が「県陵」を共通項に集うのです。今年(高26)は卒業の私たちが幹事を務め開催いたします。6月12日は「18歳の自分に戻れる日」です。第26回卒業生をはじめ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

ある有賀県議(後の松本市長)の発案で、松高の校舎を使用することになり、その結果校舎が保存され、あがたの森文化会館として文化活動の拠点となり、県宝を経て、重要文化財の指定も目前に迫っています。

火災という忌まわしい出来事の中でも、同窓生が一致協力して、母校再生に動いていたことに感謝するとともに、ピンチの時も弱音をはかずに、プラス志向で行けば未来は開けると改めて思うこの頃です。

TKC コンピューター会計

### 小原会計事務所

小原 千明 (高26回卒)

〒390-0872 長野県松本市北深志1-8-1  
☎0263-32-7130 ☎0263-34-2172

住まいる考房

清水 宏 (高26回卒)

木の住まいとくらしの提案

〒399-0738 長野県塩尻市大門7-14-18  
☎0263-53-8388  
http://www.sumai-k.com

県陵二六会愛のリレー実行委員長

松本市役所  
柏澤 由紀一 (高26回卒)

〒399-0015 長野県松本市平田西2-15-3  
☎0263-86-3806  
☎0263-34-3000(勤務先)



# 半記念事業

昨年9月22日に実施された創立80周年記念音楽祭への出演交渉の一場面(ひとコマ)だった。以来プロデューサーとしての私と出演・演出の立場の上条さんとのふたりで交わしたFAX通信とメールのやりとりは数10回を超えた。彼は通信の終りに「髭より」というクレジットを入れて来られる。私は私で30年近く口髭と顎鬚つきの顔を晒してきたので、この「髭より」という上条さんのクレジットに戸惑いを禁じ得なかった。「髭は私に任せなさい」と言われているように思えてならなかったのである。

音楽祭を間近に控えた昨年の9月某日、私は意を決してヒゲを剃り落とした。鏡に写った見慣れない少々間延びした顔で暫時百面相を作って表情の研究をした。ちょっと後悔の念が頭をもたげたが首を振ってその思いを打ち消した。音楽祭は実行委員会出演者、在校生、同窓会の熱意と情熱で大成功のうちに終えることができた。あれからもう半年が過ぎた。私は音楽祭の興奮を思い出しながら春の陽射しの中、すっかり元に戻った白いヒゲを撫でまわしながらこの原稿を書いている。

髭陵万才!ヒゲに乾杯!  
(作詞家・プロデューサー／松本礼児)

松本県ヶ丘高校創立80周年記念美術展

## 「一虹展」の報告

宮沢 利昭 (高9回卒)

音楽祭、サッカー試合と並び3大記念イベントとして行われた「一虹展」は、創作活動に携わる髭陵卒業生の作品の発表の場であり、五年ごとに開かれていて、既に八回を数える美術展である。

特に今年は記念事業として行われることから、より広く、多くの出品者を募り、内容も充実したものにするため、早くから準備にかかった。歴代恩師の作品や物故作家、



また在校生の美術部員の作品の展示などは記念展に相応しい企画だったと思っている。また海外留学生をはじめ全国から65人が参加、絵画、彫刻、工芸、デザインなど150点を越える作品で新築間もない松本市美術館の二つの会場は埋め尽くされた。また11日間で延べ4000人に近い入場者は驚異的な数字であり、髭陵80周年の歴史と、卒業生の多分野での活躍を存分に見てもらえたものと思っている。

今回、美術展と合わせて行われた竹内順一、西村康彦氏の記念講演もたいへん好評のようであった。最後に東京および東京近郊に在住する出品者の名前と作品を列記して私の報告といたします。  
栗田浩(高3回・油彩)、和滝利清(高4回・油彩)、小松敏明(高5回・立体)、金田中央(高3回・CG)、宮沢利昭(高3回・テレビ美術)、西村哲夫(高4回・陶芸)、柳沢重子(高11回・水墨画)、佐原輝夫(高23回・イラストレーション)、中村茂幸(高27回・彫刻)、百瀬博之(高27回・インスタレーション)、丸山富之(高28回・彫刻)、百瀬太虚(高30回・油彩)、丸山道彦(高43回・陶芸)  
宮沢利昭・記 佐原輝夫・写真  
荒木 仁(高23回・ポスターデザイン)

### 創立80周年記念行事

## サッカー交流試合

創立80周年記念行事のひとつ、サッカー部OBなど約80人(実施委員長:西村武博さん/高校20回卒)が運営する、サッカー交流試合が7月21日、松本平広域公園総合球技場・アルフィンなどで行われた。静岡県の清水東高校との交流試合のほか、元日本代表主将の伊原正巳さんと、サッカー部OBで横浜マリノスのゼナラルマネジャー・下条佳明さん(高校25回卒)によるサッカークリニックもあった。

小学校5、6年生対象のサッカークリニックは、定員の3倍を超す300人以上が応募。選ばれた100人が、国内トップレベルの指導者から直接模範を示され、技術面ではドリブルやボールコントロールの方法などを学んだ『楽しい気持ちを持つことと集中力、友達とのコミュニケーションが大事』と心構えにも触れた。

交流試合は、全国高校選手権やインターハイで優勝経験もある伝統校を相手に善戦。前半を1点のリードで折り返したが、後半逆転を許し、1×4で敗れた。

「子供たちがいい指導を受け、いい試合を見てもらうことで、わずかでも地域のサッカーレベルの底上げに貢献できれば」と西村武博実施委員長(談)。

### 髭陵生の必読書

#### 80年史「髭陵の歩み」

B5判 1120頁 一冊5,000円

開校から現在までの歴史をエピソードやコラム、写真をふんだんに盛り込み、読みやすく、判りやすく綴っています。特に新制高校への移行から現在まで、教育制度の変遷とその時々の生徒の動きや、生徒会の活躍(クラブ・クラスマッチ・髭陵祭など)を網羅しています。

#### ◎申し込み方法

下記口座へ5,000円を振り込んで下さい。納金確認のうえ直送します。

口座名義:長野県松本県ヶ丘高等学校  
創立80周年記念事業実行委員会

#### ◎問い合わせ

同窓会事務局  
TEL.0263-32-0666 FAX.0263-32-8199



松本県ヶ丘高等学校同窓会

副会長 有賀 正  
(高2回卒)

〒390-0825 長野県松本市並柳1-2-10  
☎0263-25-4848

Pearl-Colored Stone・Diamond

TSUKAHARA  
JEWELRY

有限会社 塚原ジュエリー  
塚原 哲夫(高18回卒)

南洋珠・色石・ダイヤモンド輸入・卸  
〒110-0016 東京都台東区台東3-12-2 大上ビル2F  
TEL/FAX:03-3837-9758 携帯:090-3234-6187





# 80年祝の成功に

同窓会会長 小林清完 (中15回卒)



東京同窓会のご協力で「県陵80年のお祝」が無事完了、平成15年度でくりができました。困難な経済その他の事情下で、計画通り実行されました。卒業生の一人ひとりのご理解の賜と感謝にたえません。

## 〈記念事業〉

◎大体育館の改築 平成9年から長野県当局にお願いして参り一週り大きい1,737㎡、約3億4000万円強で平成15年2月完成されました。

◎学習館の改築 新教育態勢の確立のため「学習館」陵友館を177,80㎡、約4100万円 で新築し、同窓会館も改修しました。

◎学校施設整備と育英資金へ 新体育館の倉庫等に2000万円、育英事業資金に2000万円、計4000万円を充当しました。

◎80年史(県陵の歩み)の発刊 平成11年から始め、平成15年10月に3000部が発刊されました。有料であります。

### ◎地域への謝恩事業

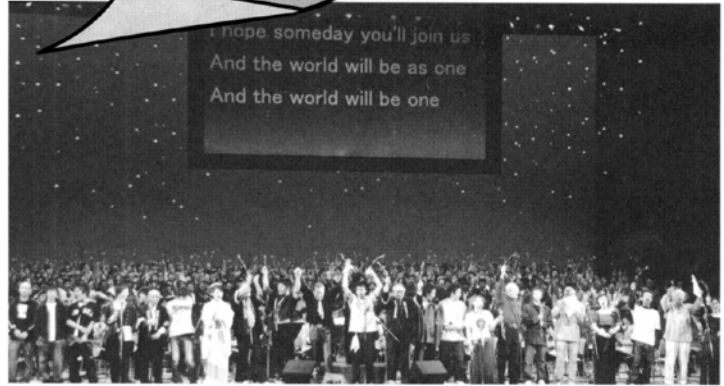
1. サッカー交流会 7月21日アウイン球技場で、静岡県清水高校チームを迎え行われ、その前後に地元小中学校生に実技指導が行われました。

2. 音楽祭 9月22日長野県松本文化会館で、2100人を超える大参加者のもと、一切が卒業生の手によって運営され、素晴らしい「感動」と「自信」を呼び、会場を沸かせました。

3. 美術展(一虹展) 10月3日~13日まで、松本市美術館で行われ、卒業生の講演もあり、在校生も出品しました。

◎同窓会の強化 1億円目標突破の寄付金は同窓会が中心であり、卒業年次、地域、職域の同窓会の大変なご苦労の結果であり、心から御礼申し上げます。

# 創立80周年



◎記念式典 10月12日新体育館で1600人にせまる参加で行われ、祝賀会も行われました。

### 〈これから〉

ともにご苦労下さった青山誠校長は定年退職、安藤貴幸教頭は辰野高校校長に栄転となりました。後任として長野県では初めて民間からの校長である京田伸吾さん、教頭には安藤善二さん、岩下康夫さんのお二人をお迎えし、これからの舵取りをお任せすることになりました。

東京同窓会のみますますのご発展をお祈りいたします。ありがとうございます。



## 創立80周年記念音楽祭後記

# 県陵万才!ヒゲに乾杯!

今福 正 (高13回卒)

一昨年の11月の或る日、私は帝国ホテルのロビーに隣接する喫茶コーナーの椅子に浅く腰掛けて上条さんの言葉を待った。高校10回卒の歌手の上条恒彦さんだ。彼は頬から顎にかけてうっすらと霜の降りたようなトレード・マークの白いヒゲを確かめるように掌で撫でるような仕草をしながら「解りました。演りましょう」と低く野太い声を発して私を見た。気難しそうにみえた表情を緩めてとてもやさしい目を向けてくれた。

「大丈夫ですよ。少なくともあなたと私が豊かな気持ちでことにあたれば、きっとうまくいでしょう」と言われたあと「存分にやってください」という言葉を添えて下さった。「失礼します」と言って辞する私を彼は立ち上がって見送ってくれた。私は「存分にやってください」というこの気持ちの良いフレーズを何度も何度も噛みしめながら駐車場に向かって歩いた。嬉しい気持ちがアスファルトを踏む足音を弾ませた。霞が関から首都高速に乗ってハンドルを握りながら、久しぶりに口笛を吹いた。



銘酒美寿々醸造元  
美寿々酒造株式会社

代表取締役 熊谷 直二 (高26回卒)

〒399-6462  
長野県塩尻市洗馬2402  
TEL.0263-52-0013 FAX.0263-54-3581



代表 安藤 久美子 (高22回卒)

\*信州の味 \*山芋料理

Dining Café  
HANA TEMARI  
(和風料理バー)

〒160-0004  
新宿区四谷3丁目7番 かつ新ビル2F  
TEL.03-3355-8710





# Kenryoh Ladies

## 県陵レディースからのお知らせ

県陵レディース代表 久保田 昇子 (高18回卒)

去る、平成15年10月25日の12時より、お台場の「ホテルグランドパシフィック クマリアン」において、7期の落語家三遊亭圓弥さんをお迎えして、昼食会を開きました。圓弥さんの素晴らしい落語に楽しいひと時を過ごすことができました。参加者は全部で34名でした。

県陵レディースの役員を除いた女性の参加は10名で、半分は初参加のみ。残りの半分は、2回、3回目という、リピーターのかたでした。

この時寄せられた感想を2、3御紹介します。

○生の落語を初めて聴けて、新鮮な体験でした。

○今まで、女性だけの集まりなんて必要ないと思っていたけれど、誤解でした。とても楽しかったので、次回も参加します。

○こういう会をお世話してくんなくてありがたい会をしました。

○喫煙コーナーを作ってください。

○喫煙コーナーを作ってください。等です。当日参加してください。方々、どうもありがとうございました。

○今までの、女性だけの集まりなんて必要ないと思っていたけれど、誤解でした。とても楽しかったので、次回も参加します。

○こういう会をお世話してくんなくてありがたい会をしました。

○喫煙コーナーを作ってください。

○喫煙コーナーを作ってください。等です。当日参加してください。方々、どうもありがとうございました。

○そして、プロの落語家さんであるにもかかわらず、ボランティアで快く落語を引き受けてくださった、三遊亭圓弥師匠に心から感謝いたします。

さて、今年の行事予定ですが、もう決まりました。今年は7月3日に

### 県陵レディース お台場のひと時に参加して

石井 晴己 (高26回卒)

行きます。既に女性の方々にはお知らせが行っていると思いますが、お座敷列車の旅です。ご縁があつて、JR東日本の太田さん(26期)のお世話で、県陵レディース専用のお座敷列車を用意していただきました。

日時：7月3日(土曜日)で、行き先は群馬県の上牧温泉です(水上温泉の二つ手前の駅)。ここには、お勧めの名旅館「辰巳館」があり、温泉は谷川岳から流れ出る雪解け水や、日本海側に降った雨や雪が地中で温められて、およそ17年の歳月を経て湧き出ている天然温泉で、効能が30種類以上に及び体の中と外から健康になります。

地元土浦の先輩渡辺さんと一緒に、初めて自分の運転で都内にやってきました。やはり、渋滞やら、少し遠回りしたようで、集合の約束時間に遅れてしまいました。しかし、こちらは先輩方、少ないメンバーで手際よく準備万端用意されています。



info:kubota@matsumoto-saijai.com

た。恐るべし、レディースメンバー！

そして今回は、三遊亭圓弥師匠(高7期)の粋な落語と、会場を提供してください。ホテルパシフィッククマリアンの総副支配人 玉井和博先輩(高19期)のご好意により、おしや

健康ですか？  
悩んだり あきらめる前に  
**松本 整体**

〒168-0082 東京都杉並区久我山5-8-17(京王井の頭線久我山駅前)  
TEL:03(3332)5725 (予約制)  
院長 久保田昇子(高18回卒)

今ご利用のサーバと比べてください...

ARCLANET

ビジネスの信用は自社ドメイン (www.御社名.com)で...  
月々わずかな負担で  
自社ドメインを活用することができます

詳しくはホームページを <http://www.arclanet.com/host/>

**株式会社アーク・プラネット** 高嶋 知由 (高25回卒)  
本店:市川市 ハンクーパーオフィス:カナダBC州バーナビー市

**ASKA Research**

有限会社 **小松清路建築研究所**  
Co.,Ltd SEIJI KOMATSU ARCHITECT & ASSOCIATES

代表取締役 小松清路 (高23回卒)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-6-1005 TEL:03-3343-5936 FAX:03-3343-4926  
1006-6-12-6 Nishi-Shinjyuku Shinjyuku-ku, Tokyo e-mail: A.S.Komatsu.A@osk.zero.ad.jp

医療法人 **裕仁会**

ウララ歯科クリニック  
TEL:029-825-4488

石井歯科医院  
TEL:029-824-0050  
茨城県土浦市田中3-2-33

石井晴己 (高26回卒)  
info@urala.com URL:urala.com



# Kenryph Ladies



れで楽しい会が始まりました。寄席に行つて落語を聴く機会など経験のない私には、眺めのすばらしい素敵な会場、しかも我々のためのスベシャルメニューに舌鼓をうちながら、すぐ目の前でエンターテインメントにすっかり魅了され、笑つたり飲んだり、夢見心地の気分となりました。

これは、年齢も仕事も環境も違ひ、ただ、県陵の同窓という繋がりでだけ実現できる、すばらしいパワーだと感じました。  
私がレディースの行事に参加したのはこれが一回目です。そんな私でも、スツと溶け込めるのが、この会の雰囲気です。ましてや、多方面で活躍される先輩後輩方のおかげで、リースナブルで楽しくお話し、大人の楽しみができます。レディースばかりでなく、東京同窓会総会も、やはりいろいろな方面の方のお力の下、毎年盛大に行われています。

県陵という名のおしらせが着きましたら、勇気を出して一度参加してください。大人の学園祭が味わえます。

東京同窓会、県陵レディース、これらの会を発起、継続して下さっている諸先輩方に心より感謝いたします。ありがとうございます。そして、これからもよろしく願っています。

## 県陵レディースに初めて参加して

高橋 明美 (高27回卒)

毎年、東京同窓会が開催されているのは知っていました。そして数年前から届くようになった「県陵レディース」の知らせ。私の卒業時のクラスBは、卒業以来毎年かかさず同級会を開いていて、私もできる限り出席してきましたが、いざ「東京同窓会」となると腰が上からず出席したことはありませんでした。「県陵レディース」も「会報あがた」に手記を寄せられている年上の方が多く、出席しても話が合わなくて気まずい思いをするのではないかと、という気持ちで出席するまでには至りませんでした。でも昨年「県陵レディース」の知らせを頂いた時、「こういうのもタイミングですね」諸般の事情が許したというか、欠席の理由がなかったのとなせか「出席してみ

よう」という気持ちで起り、出席に丸をつけて返信しました。  
当日はお台場の「ホテル グランバシオン」で開かれた「県陵レディース」の落語を聞きました。を聞かせて頂きました。古典に触れる機会がほとんどない生活を送っている私にはとても新鮮に感じられました。その後の昼食会も和やかに進みおいしい食事も堪能できました。初めての私にもひとりで参加の私が居心地が悪くならないように気を配って頂いたおかげで、楽しいひとときを過ごすことができました。私にとっては硬式庭球部の一年先輩に久々に再会できたのも、とてもうれしいひとときでした。二十年近くも前の部活の話に花が咲きました。そして昼食会がお開きになつた後も喫茶室へ場所を移し歓談は続きました。同窓生とは思えないほどの年齢を越しても同じ学び舎で三年間を過ごしたという共通点だけで、初めてお会いした方々とも話が尽きないのですから。

今年の「県陵レディース」の行事は「お座敷列車貸し切りの旅」に決まりました。こういう行事に参加して普段できないような体験をするのも楽しいかな、と思っています。



**株式会社日本ビルワーク**  
 常務取締役 三澤 政興 (高18回卒)  
 Saving Your Property and Life.  
 (土地・建物管理、リフォーム、不動産仲介)  
 不動産コンサルティング  
 ファイナンシャルプランニング  
 〒112-0004 東京都文京区後楽 2-7-5  
 糸平飯田橋ビル4階  
 ☎03(5684)9977 ☎03(5684)9493

総合建設業・一級建築士事務所・不動産企画開発

ひとに優しい未来を創る

ISO 9001・ISO 14001 認証取得企業

**ASUPIA 株式会社 アスピア**  
 AMENITY, SECURITY & UTILITY for UTOPIA

代表取締役 百瀬方康 (高校22回卒)

本社:長野県松本市宮淵1-3-30 〒390-8639 TEL.0263-32-8855 FAX.0263-35-1618  
 http://www.asupia.co.jp/ E-mail:info@asupia.co.jp

**飯沼税務会計事務所**

税理士 飯沼 英男 (高19回卒)

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-66 三上ビル 5F  
 TEL.03-3269-8249(代) FAX.03-3269-8289

Asahi KASEI 旭化成の住まい

家づくりをお考えの方はご相談下さい。

ロングライフ住宅。

**ハーベルハウス**

東京法人営業部  
 日比谷営業所  
 所長 樋口 哲 (高28回卒)  
 宅地建物取引主任者  
 ファイナンシャルプランナー

〒105-0003 東京都港区西新橋2-39-3 SVAX西新橋ビル7F  
 TEL.03-3507-2080 FAX.03-3459-4968  
 E-mail: higuchi.tb@om.asahi-kasei.co.jp 土・日営業(火曜・水曜定休)



# 紀伊半島とサンマ

縣陵関西同窓会

藤田 泰之(高8回卒)

わが国最大の紀伊半島に無頓着に過して来た。その範囲は、辞書に「東は熊野灘、西は紀伊水道に面す。大部分が山地」とある。三重県は伊勢より南、和歌山県は大和との府県境、奈良県は吉野山より南らしい。わが家は大阪府和泉市。裏山を越えると和歌山の粉河寺、紀ノ川。川向こうの山を分け入るとそこは霊場高野山である。

今年も正月と二月初め、熊野古道(伊勢路)を伊勢から滝のある熊野那智大社まで歩いた。熊野古道は紀伊半島に幾筋もある。八経ヶ岳がある大峰奥駈道はその代表だ。平安時代以降、熊野信仰が盛んになった。奥駈道は信仰登山の元祖であり、現代登山の先駆である。

藤村の馬籠宿を行き来した善光寺参り、伊勢詣、さらに伊勢の先を「蟻」のように歩いた熊野詣の人たちは、トレッキングの元祖といえるのではないかと。伊勢と紀伊の国を分けるツツラト峠、尾鷲に入る手前には馬越峠がある。一月には、紀伊半島を一周する鉄道が最後に開通した三木里―新鹿辺りの山越えから始めた。

翌日、新宮の熊野速玉大社隣の佐藤春夫記念館で「秋刀魚の歌」と向き合った。一節に「さんまを食ふはその男のふる里のなほいなり。」とあった。和泉でもサンマが店頭に並ぶ。丸干し定食を出す食堂がある。京都から大阪を経て熊野古道に続く紀州街道が市内を通る。紀伊半島を感じる土地柄だ。

# 卒業…… そして今。

布目 佳織(高51回卒)



県陵を卒業してからはや五年、早いもので私ももう今年で二十四歳、二

度目の年女になった。社会人になっても一年が経ちもうすぐ新しい後輩を迎える。高校卒業の頃は、まだ自分の将来について漠然とした考えしかなかった。「何となく大学に入つて、いい会社に就職したい。」特にこれがあった、というのがある訳でもなく、「大学には半分遊びに行くようなものだ。」と思っていた。

その願いを叶えるチャンスがやってきた。大学に長期留學プログラムなるものがあることを知ったのだ。早速そのプログラムに応募した私は、数々の厳しい審査をクリアし、とうとうオーストラリア行きを手に入れた。シドニーの七ヶ月間は有意義なものだった。毎日が何でも勉強だった。友達と遊びに出ることも映画をみることも。人とすぐに仲良くなれる性格が功を奏し、すぐに他国からの留学生と仲良くなられた。

世界の中にいる友達、そして何よりも自信があった。そして今、私は証券会社に席を置いて、大学生活で培ってきたものを丸々に活かしている気がする。それは、人とのコミュニケーションだったり、経験や知識だったり、いろいろな引出しを使つて、お客さんとのやりとりを活かしている。願い、それに対して努力をすれば、ものごとくうまくいくんだ、という自分が自分自身で経験し、感じ取ったものが今の私を支えている。そしてこれからも、これらの経験を活かし、大きく成長していきたい。

## Be Factory

ビー ファクトリー

彫刻家

中村 茂幸(高27回)

アトリエ

〒123-0824 東京都足立区鹿浜1-13-19  
 ☎03-3857-8155 ☎03-3857-8795  
 E-MAIL be-fa@onxy.dti.ne.jp  
 http://www.onxy.dti.ne.jp/be-fa/

医療法人社団 梓会

## 古畑歯科医院

いびき・睡眠呼吸障害研究所

日本歯科大学講師  
日本睡眠学会認定歯科医師

古畑 升(高22回卒)

〒107-0052 東京都港区赤坂6-15-1 ミツワビル2F  
 ☎03-3587-1823

内装工事・設計施工

## インテリアARAKI

荒木 仁(高23回卒・C組)

☎03-5384-3261 ☎03-5384-3297  
 mail: h-araki@ma3.justnet.ne.jp

# 思いをつくまに

田中文字  
(高4回卒)



この度、関東地区在住者のための同窓会誌「会報あがた」に、テーマは自由により編集事務局より原稿用紙が送られて来ました。何せ古希を迎えた私は、何十年も文章など書いていませんので、戸惑いましたが、思った事など書いてみます。

私達女生徒、第一期生が入学した頃は、戦後四年目の春で、男女の差別がまだまだ多い時代でした。二十数名は、それぞれの中学の担任の先生の勧めにより入学しました。

# いつまでも青春

古澤之教  
(高7回卒)



東京同窓会  
会計監査

県陵を卒業して五十年になります。が「今日が我が人生の一番若い日」をモットーにしている。

サミュエル・ウルマンの「青春」の詩の中に「人は信念と共に若く、疑惑と共に老ゆると共に」希望のある限り若く、失望と共に老い朽ちる」ともありますが、人の身体は加齢と共に老いを迎えることにはなりますが、青春を継続することにより老いの到来を先に延ばす方策がないものかと模索しながら今日を過ごしております。

若い頃から異業種の友人を持つこ

女子トイレもなく、体育の時間の着替え室もありませんでした。そんな折には、故人・松井富美先生(国文)に相談しました。先生は的確に助言として励まして下さいました。何とか頑張って次年度を迎えました。二期生女子は多数入学され、私達は少々頼りない先輩となりました。

学生時代の友人は一生の宝だと思います。松沢氏(数学)の夫人の弘子さん、蝶子さんと、それに康子と私の四人は学生時代のままで親しくつき合っていていただいています。四人とも夫婦健在(一病息災の例えもあり)ですが、幸せに感じています。

昨年初めて県陵レゾースに弘子さんと出席しました。県陵レゾースが発足した折には、一期生は、抵抗を感じて出席を控えておりましたが、あまり姑根性と思われてもうと思つて、出

とが人生を楽しくすると言われますが、私の場合も定年前にある新聞社主催のフォーラムで知り合った仲間と「自遊人倶楽部」という会をスタートさせ十年になります。今ではお互いに人生を語り合える友として毎月の例会は勉強会・読書会・ハイキング・絵画鑑賞などは後は懇親会で散会となります。

そこで語り合った「定年後に若返る生き方」を模索してみると……(真偽の程は定かでないが)

一、人生八十年として時間はどの位あるか。驚くほどあります。生活必要時間(睡眠・食事)を差し引いて一日一四時間として二十年で二〇万時間を超えることとなります。因に四十年働いた時間に匹敵します。急ぐことはない。

二、定年から自分を育てる「カキケケコ」(大島 清 教授の提唱) 楽しい

席させていただきました。さすが県陵レゾ、大変すばらしい会でした。お世話下さっている久保田さんに感謝！若き後輩とたくさん話も出来、年の差を忘れ楽しく感じました。同窓生には良いものと痛感し、これからは健康の許すかぎり出席したいと思つています。

私は(一)テソコーラスを楽しんでいます。年に四・五回の音楽祭(発表会)があり、ほんの一瞬の緊張と、健康と若さを取り戻す感じを味わっています。写真は今年一月の音楽祭の時のものです。

お世話になりました恩師、親しかった先輩、同期の方の訃報を知った時など、気落ちしますが、たまたま冥福を祈るのみです。

県陵同窓会のみなさまのご健康とご発展をお祈りいたします。

暮らし(快樂的の老境)を保つ五つのカギとして日常生活の中で何事に対しても力・感動する キー・興味をもつク……工夫すること ケー……健康 コ……恋心を大切にいう。

三、不良中年をエンジョイすること(嵐山 光二郎氏)。本来は真面目人間が不良らしく振る舞うことにより人生が楽しくなる。即ち今までの自分と多少違う振る舞いをしてみる。ものごとを鳥瞰の目でとらえ、常に不良のネタをさがすこと。何事にも周囲を気にせず、自分の意志を尊重して行動する努力をすること。など……

いま時の日本はどこに行つても元氣な女性ばかりが目立つが、男子たるものも、多少のお洒落をして青春を謳歌しようではありませんか。県陵健男児として……

●診療科目●  
小児科・内科

Mimura  
MIMURA CHILDREN'S CLINIC  
みむら小児科クリニック

院長 三村 明朗(高24回卒)  
〒158-0081 東京都世田谷区深沢 4-11-3  
☎03-3705-3322

●【火・木・金】  
乳児検診・  
予防接種(予約制)  
●水曜午後・土曜午後・  
日曜・祝日は休診

●(東急バス)東深沢小バス下車すぐ

コンピュータ会計  
TKC

須江税理士事務所

税理士 須江 和彦(高25回卒)

〒151-0073 東京都渋谷区世塚1-59-7-803  
☎03-3378-6542 ☎03-3373-8047  
E-mail:sue@tkcnf.or.jp

人、社会、そして地球環境とともに。

Proposal  
Optimum Structure  
For Human  
Environment

TEPSCO 東電設計株式会社  
廣田裕司(高25回)

〒110-0015 東京都台東区東上野3-3-3  
TEL: 03-5818-5506  
E-mail: voic@tepsco.co.jp  
http://www.tepsco.co.jp

Graphic Design

有限会社 荒木デザイン室

グラフィックデザイナー 荒木 仁(高23回卒・1組)

〒106-0032 東京都港区六本木7-9-7 2F  
TEL.03-3401-1394 FAX.03-3401-1816  
E-mail j\_araki@t3.rim.or.jp

画家

百瀬 太虚  
本名 武利  
(高30回卒)

〒332-0031 埼玉県川口市青木5-9-1-101  
☎048-255-0719  
http://www.fides.dti.ne.jp/~momose



# 高校つながり。

樋口 哲 (高8回卒)

私は、昭和51年に県陵を卒業いたしました。大学、社会人と松本を離れて早28年が経過いたしました。田舎にいる両親を想って電話をかける回数も最近多くなっており、また田舎を想い、また県陵を想い最近感じた事を書かせていただきます。

社会人となり社内外の先輩、後輩、お客様、お取引先との会話の中で出身高校についての会話は非常に盛り上がる事が多いです。

堅苦しい雰囲気の中で、なにげない雑談から出身地、出身高校の話に及びその瞬間から突然友好的な楽しい雰囲気に変化した経験がたくさんあります。それほど日本人は自分の出身地・出身高校に深い愛着を持っているんですね。

私の会社に先輩のBさんと後輩のS君がおります。二人はもともと県陵の出身ではありませんが、Bさんは「大阪府立夕陽ヶ丘高校」S君は「神奈川県立緑ヶ丘高校」と共に「ケ丘」が校名末尾に付きます。名づけて「ケ丘3兄弟」と時々楽しくお酒を飲んでいます。

またBさん・S君は共に高校、大学とサッカーをやっており、サッカーの強い「松本県ケ丘」についてもよく知っています。

会社に入って16年目の時に、お客様とトラブルが発生してはとほど困っていたところ、雑談の中でお客様が私の大学の先輩であることがわかり「何だ俺の後輩か、しょうがないな、しっかりやれ」と許していただいたことがあります。この出来事もまた同窓縁とは本当にありがたいものだと思います。

最近世の中が大きく変化しており「過去のしがらみにとらわれるな」「革新」のオンパレードです。確かに大事なことです。が人生それだけではあまりに殺伐として面白くないように思います。私はこれから同窓縁でお付き合いする方に機会があれば少しでもお力になればと思います。またこれが生意気なようですが人生の妙味のような気がしております。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

## ● 縣陵東京同窓会 アルペン会 ゴルフコンペ報告 ●

第50回記念大会成績 平成15年9月11日(木)

会場 武蔵富士カントリークラブ  
 参加者 47名(ゲスト2名)  
 優勝 山本 靖弘(高校13回) グロス75 ネット71.4  
 ベストグロス  
 準優勝 宮川 郁雄(高校 5回) グロス94 ネット73.6

第51回は5月13日(木)開催 次回の会報で報告。

会場 太平洋クラブ&アソシエイツ江南コース

第52回は平成16年10月14日の予定、会場は未定。

### ○アルペン会の足跡○

当会は、東京同窓会の会員による親睦の一環として、昭和44年11月29日(土)に第1回を赤羽GCにおいて樋口和博名誉会長(中学1回卒)並びに塚原豊喜前アルペン会会長(中学14

回卒)他6名の先輩方によりスタートしました。

第1回目の優勝は中学3回卒の丸山袈裟春先輩のネット64でした。

第10回は昭和48年11月29日常陽CC。第20回は昭和62年4月23日越生GC。第30回は平成5年11月9日厚木国際CC。第40回は平成10年11月13日神奈川CCと昨年に第50回を迎えました。

回を重ねるたびに参加人数も増え、42回大会時には80名の参加がありました。今後も同窓生相互の親睦と交流の場として春秋の年2回開催を続けて参りたいと思いますので、ゴルフ愛好の皆様のご参加をお待ちしています。

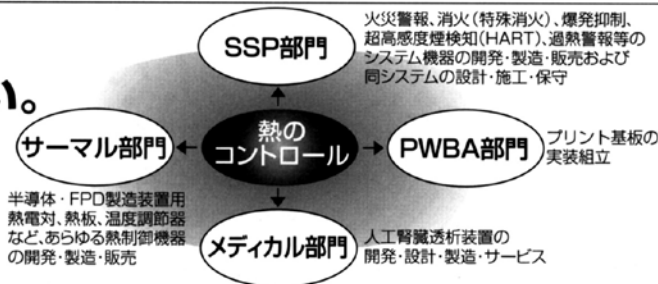
参加ご希望の方は事務局までご連絡下さい、案内をお送りします。

事務局 濱 一昌 (高8回卒)  
 E-mail tokorohama@aol.com

## 熱のコントロールから できることは計り知れない。

**Fenwal 日本フェンワール株式会社**

東京都千代田区飯田橋1-5-10 (教販九段ビル)  
 〒102-0072 TEL.03-3237-3561  
<http://www.fenwal.co.jp>  
 村上由多加(高25回卒)



松本市浅間温泉1-28-16  
 山崎正治 (高5回卒)

TEL 0263 (46) 0573  
 FAX 0263 (46) 5178



株式会社 東信商会

青柳善久 (高20回卒)

本社  
 〒143-0025 東京都大田区南馬込3丁目22番2号  
 ☎(03) 3777-1045 ☎(03) 3777-1046

販売促進・広告の企画製作(コピー・デザイン・印刷)  
**大きな会社にはない小回りのきく会社**  
 アナログからデジタル処理まで致します。

有限会社エムディーファクトリー

代表取締役 丸山 英明 (高19回卒)

〒107-0062 東京都港区南青山4-27-20  
 樺マンション203  
 ☎03 (3797) 5057 ☎03 (3797) 5058



## 松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 平成15年度会計報告

自平成15年4月1日至平成16年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
適用	金額	適用	金額
前年度繰越金	135,991	総会関係支出	1,912,057
総会関係収入	2,199,001	懇親会費	1,142,146
総会会費	1,647,000	諸雑費	594,442
寄付金	168,000	実行委員会活動費	175,469
雑収入	234,000	会報発行費用	729,711
その他	150,001	印刷代	260,925
会報発行収入	707,000	発送費等	430,190
広告料収入	625,000	編集会議費	38,596
寄付金	82,000		
その他収入	903,188	その他支出	1,496,774
会費勘定繰入	488,188	幹事会議費	423,315
本部助成金	100,000	渉外費	213,437
寄付金	0	活動交付金	330,000
幹事会会費	315,000	事務費	46,800
その他雑収入	561,000	通信費	19,620
		HP作成費	109,830
バッジ販売費	561,000	諸雑費	5,970
		バッジ制作費	347,802
銀行利子	1	次年度繰越金	367,639
総合計	4,506,181	総合計	4,506,181

### 特別会計の部

#### 1.同窓会会費特別勘定

前期繰越金	4,469,230円
終身会費収入	920,000円
年会費収入	514,000円
預金利息	244円
振込手数料(一)	32,730円
前期年会費会計口座繰入(一)	488,188円
当期残高(りそな銀行普通預金)	5,382,556円

#### 2.特別基金勘定

りそな銀行金銭信託の残高	1,621,777円
当期増加額(受取利息)	844円

上記の通りご報告いたします。

平成16年4月23日

会計幹事 百瀬 興一 小林 哲彦

#### 会計監査報告書

会計幹事より提出を受けた会計帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であると認めます。

平成16年4月23日

会計監査 古沢 之教 太田 均

#### 平成15年度次期繰越金内訳

みずほ銀行普通預金	367,639円
会計幹事手許現金	0円
合計	367,639円

#### 会費振込みのお願い

会則第12条に基づき平成16年度の年会費の徴収を行っています。同封しました振込用紙をご利用のうえ6月末日までにお振込下さい。併せて終身会費も受付けております。なお総会当日も受付にて年会費の徴収も行いますので併せてご利用下さい。  
年会費 2,000円 終身会費 20,000円  
財政委員会

## 平成15年度事業報告

平成15年度は、母校創立80周年の節目の年であり、松本において開催された各イベント並びに記念式典に在会会員が多数参加し大いに盛り上げました。

東京同窓会は、執行機関である幹事会を代表幹事会と合同で3回開催。各会議に平均35名の幹事が出席し、同窓会の運営、財政基盤の確立、若年会員の参加促進策等について積極的に議論推進してまいりました。

そんな中、第36回東京同窓会・懇親会は高校25回卒の高嶋智由実行委員長を中心に6月14日(土)午後2時30分より新宿エステックビルパーティーハウスY'sで開催。母校創立80周年を祝し、また東京同窓会並びに母校と会員のさらなる飛躍を目指して「基定めて80年 飛躍の時は今なるぞ」をテーマにお楽しみ抽選会や有賀喜楽、小沢直子(各25期生)さんの箏曲演奏によるミニコンサートさらに会場では移り行く松本をビデオ上映したり、記念デジカメ撮影会といった趣向を取り入れ多めに盛り上げ盛會裏に終わりました。

開催日を平日から土曜日に戻して開催したが参加者は190名で思ったほど伸びなかった。また、会報「あがた」を総会案

内に同封し関東近県約3600名の同窓生に送付いたしました。毎回実行委員をはじめ各幹事の皆様並びに広告掲載等のご協力を頂いた会員のご支援の賜物と感謝申し上げます。この形態にして4回目を迎えますが出欠席を含めた返信が住所不明をあわせて700通弱であり、今後の検討課題となっています。ホームページも開設以来3万件を超えるアクセスがあり有効に活用されています。今後も同期会やイベント等大いに利用して頂きたい。県陵レディースの活動も別記のとおり益々充実し浸透が進んでおります。同好会活動であるアルペンゴルフ会も50回を数え記念にピンバッジとマーカーを作成、販売をして、会の財政に寄与して頂きました。

渉外関係は、本部同窓会並びに中信同窓連、縣同窓連、僚友校等との交流を、特に本年は中信同窓連30周年、縣同窓連40年記念の各イベントに参加懇親を深めました。

最後になりましたが、年会費、終身会費の納入、更には会報の広告、寄付金のご協力に感謝申し上げ厚くお礼申し上げます。引き続き宜しくご協力をお願いします。

幹事長 栗山 英毅 (高11回卒)

### 人事・総務の“業務改善”支援

#### 株式会社 ビジネスネットコーポレーション

代表取締役 降旗 真寿幸 (高22回卒)

濱 一昌 (高8回卒)  
竹野入 俊木 (高25回卒)  
寺島 公二 (高34回卒)

http://www.busnet.co.jp TEL : 03-5444-3066

政府登録ホテル 全日本シティホテル連盟会員

#### 松本“リーリスト”ホテル

代表取締役会長 縣 芳郎 (中6回卒)

代表取締役社長 縣 正長 (高17回卒)

代表取締役専務 縣 秀享 (高23回卒)

松本市深志 2-4-24  
TEL.0263-33-9000 FAX.0263-33-6435  
ホームページ  
http://www.mcci.or.jp/www/mtourist





縣陵東京同窓会ウェブサイト

kenryo-tokyo.net

2001年のスタートから3年。同期会やかつての部活動のOB会、ゴルフ大会や会員の演奏会など、さまざまな告知とレポートを中心にご案内しております。また、会を重ねるごとに若返る総会の幹事年のみなさまが活用して下さることが増え、ようやくウェブサ

イトの本領を発揮してきた感があります。縣陵の仲間であれば東京にこだわらずに、いろいろな情報を載せてゆきたいと思っております。連絡網や伝言板としてのご利用も大歓迎です。(サイト管理者：佐原輝夫/高23回卒)

e-mail : info@kenryo-tokyo.net

樋口名誉会長から図書への寄贈

この度、本年94歳になられた本校第一回卒で東京同窓会名誉会長の樋口和博先生が「つれづれのことおりの歌」を出版、併せて昭和60年に出版された随筆「峠の落し文」を再版しました。その出版を祝う樋口和博先生を囲む会が4月24日市ヶ谷アルカディ

アで開かれました。その折、先生から司法制度の大改革の中、裁判委員制度が導入され一般の人も裁判員に任命され、裁判の審理を行う機会が出来ることとなります。そうした意味では是非この本を読んで頂きたい。と法曹生活五十余年の体験をまとめた随筆

「峠の落し文」を寄贈し、一冊1,000円で販売、その売上金全額を東京同窓会に寄付してくれることになりました。総会当日、受付で販売いたしますので是非ご購入をお願いします。

問い合わせ 幹事長 巢山英毅 (03-3925-0244)まで

編集後記

母校創立80周年記念事業は大成功のもとに終了し、90周年へ向けて新たな一歩となる年に、会報「あがた」も高校26回卒の実行委員会の協力を得て、無事発行に至りました。

母校では、長野県で初めて民間から京田伸吾学校長(5P参照)を迎え、新たな歴史を刻もうとして

います。この新しい試みに、県陵生として大いに期待したいと思えます。

発行にあたり貴重なご意見・体験を寄稿していただいた方々、厳しい経済状況のもと広告掲載でのご支援をいただいた皆様には心より感謝いたします。6月12日の総会には多くの同窓生が集うことを願っています。

広報委員会 荒木仁(高23回)



鳥羽クリニック

内科・胃腸科・肛門科

院長 鳥羽 昌仁(高22回卒)

〒157-0066 東京都世田谷区成城6-6-9 成城サウスビル2F  
☎03-5490-9351(代)



夕陽に染まる三大精神の碑(通用門) Photo:村上重義

縣陵三一会

昭和31年 高8回卒

会 長 澤田 吉雄

東京事務局 演 一昌

☎☎ 04-2945-6555

とをしや薬局

株式会社 とをしや薬局本部

長野県南安曇郡穂高町大字有明10011 〒399-83  
TEL 0263-83-7342・7343 FAX 0263-83-7344

佐野 訓久(高25回卒)

巢山 英毅

(高11回卒)

〒178-0062

東京都練馬区大泉町6-11-6

☎ 03 (3925) 0244・☎ 03 (3867) 5171

国際ラ・テ製作株式会社

代表取締役 大澤 清重  
会 長 (中13回卒)

(株)エフエム東京顧問  
(財)蓮根文化会館理事長  
(学)千葉国際学園理事

〒174-0046 東京都板橋区蓮根2-13-9

☎03-3966-5481

HIGH QUALITY ILLUSTRATIONS  
& DESIGN  
TELLY'S OFFICE INC.



佐原 輝夫(高校23回卒)

telly@iris.dti.ne.jp

http://www.iris.dti.ne.jp/~telly/